

国語（第3回）

| | | 得点率 (%) |
|-------|----|------------|
| 1 説明文 | 問一 | 64.4 |
| | 問二 | 82.3 |
| | 問三 | 23.2 |
| | 問四 | 39.1 |
| | 問五 | 85.6 |
| | 問六 | 97.7 |
| | 問七 | 91.2 |
| | 問八 | 70.2 |
| 2 物語文 | 問一 | 96.5 |
| | 問二 | 94.0 |
| | 問三 | 94.2 |
| | 問四 | 51.1 |
| | 問五 | 58.3 |
| | 問六 | 94.6 |
| | 問七 | 50.0 |
| | 問八 | 76.5 |

合格者最高点 93
合格者最低点 58

1 出典：河野至恩『世界の読者に伝えるということ』

問一 傍線部（1）「『世界の中の日本文化』を日本国内の視点からではなく『世界の読者』の視点から見ること。この視点の切り替えこそ、いま必要とされている。」という箇所に関して、「『世界の読者』の視点から見る」とはどうすることかを聞いています。「世界の読者」とは6行目にあるように「日本の文学や文化とは直接関わりのない想像上の読者」を指しています。また、その「視点から見る」とは22行目にあるように「日本文学がどう読まれ、日本文化がどのように楽しまれているかを想像すること」となります。この2点を用いて解答を作成します。今回は「想像」という言葉を「想像上の読者」と「～を想像すること」の二つの意味で用いる必要がありましたが、どちらか片方が欠けている答案が多く見られました。得点率は66%でした。

問二 傍線（2）「現代日本において19世紀ロシア文学を読んだりする体験」の説明として適切なものを選ぶ問題です。イが正解で、得点率は82%とよくできていました。

問三 傍線 (3) 「いまの日本で、『日本文化 (文学) の世界の読者』についての情報は、以前より簡単に手に入るようになった。」という箇所に関して、これまで日本においてどのように『日本文化 (文学) の世界の読者』が紹介されていたかを問う問題でした。1 頁下段を読むと、筆者は「学ぶことが多い」と肯定的に評価しつつも、「歴史的に説得力のある説明になっていないことが多い」と否定的側面についても述べていることがわかります。この両面を掘り下げることで解答を作成します。肯定的側面では「興味深い事例が数多く紹介されている」こと、否定的側面としては「日本文化論的な安易な結論に導くことが多い」ことが論拠とされています。肯定・否定の片方しか言及していない答案が多く、両方に言及したものはごく少数にとどまりました。得点率も 23% と伸び悩みました。

問四 傍線 (4) 「世界で日本文化がどう読まれているか」を内容を変えずに 2 字の熟語で言い換える問題です。31 行目を見ると「受容」と言い換えられていますので、これが答えになります。「評価」という答案が多く見られましたが、この言葉は本文中で肯定的な意味で使用されているため、中立的な立場で受け入れるという問題部分の内容にそぐわず、部分点として 3 点の加点にとどめています。得点率は 39% で差のついた問題となりました。

問五 傍線 (5) 「尊敬」と同じ構成の熟語を選ぶ問題です。同じような意味を重ねた熟語として、アの巨大を選びます。得点率は 85% とよくできていました。

問六 空欄 [6] に入れる適切な言葉を選ぶ平易な問題です。非常によくできていました。

問七 平易な漢字の問題です。概ね良好で得点率も 91% に達しました。

問八 内容合致の問題です。65 行目の内容を見るとイを選ぶことができます。誤答としてエを選んだものがやや多く見受けられました。得点率は 70% とよくできていました。

2 出典：香坂直『ストロベリー・ブルー』

問一 傍線 (1) 「あたしを魅了した」について、琴海がこのように感じた理由を答える問題です。傍線の直前部分の内容より、ウを選びます。非常によくできていました。

問二 平易な慣用句問題です。よくできていました。

問三 平易な語彙問題です。よくできていました。

問四 傍線(4)「ふだんはたいがい忘れてるけど、青みがかった夜空を見上げたときや、本棚の図鑑に目がいったとき、あたしは真っ赤なベテルギウスを思い出す。」という箇所に関して、どのような経験が琴海にこのような感情を呼び起こすのかを問うた問題です。ベテルギウスは琴海にとって「宇宙の途方もない大きさ」を感じさせるものであり、同時に「自分のちっぽけさ」を実感させるものでした。その事実思い至った結果、恐怖で泣き出したことが書かれていますので、この内容をまとめます。「ベテルギウスの大きさに驚き〜」等、ベテルギウスそのものについてのみ触れ、宇宙に言及していない答案が多く見られました。また、自分の小ささについて言及のない答案も散見されました。得点率は51%にとどまっています。

問五 傍線(5)「胸がざわざわして。ざわざわざわ。くすぐったいような、苦しいような。」という箇所に関して、このような気持ちになった理由を答える問題です。琴海にとって途方もなく大きな「宇宙」を引き合いに出した横山君の言動は、非常に勇敢にうつりました。しかしそのことをうまく伝えられないもどかしさで、心がざわついたという様子を説明する必要があります。横山君に関わる部分は非常によく書けていました。けれども、琴海にとって宇宙がとても大きいものである、そして、まじめに伝えなかったのにうまく伝えることができなかつた、という内容はどちらかが欠けたものが多く見受けられました。得点率は58%です。

問六 擬音語、擬態語の空欄補充問題です。非常によくできていました。

問七 脱落文補充の問題です。脱落文の文頭に「そんなこと」と指示語があること、そして「ベテルギウス」に言及していることから、3頁下段の辺りから適切な部分を探します。得点率は50%と伸び悩みました。

問八 内容合致問題です。90行目の内容から、選ぶべき選択肢はエとなります。アは「宇宙を閉じこめているようだ」と感じたのは琴海ではなく横山君なので誤り。イは「明確に想像」したという部分が誤り。ウは「感動した」という表現が誤り。全体としてよくできていました。